



## 基本情報

施主	東洋衛生株式会社	〒446-0059 愛知県安城市三河安城本町1-22-6
設計者	ユアサ商事(株)一級建築士事務所	東京都千代田区 中部支社 愛知県名古屋 TE-DOK 岐阜県美濃市
施工者	ユアサ商事株式会社中部支社	愛知県名古屋
所在地	岐阜県羽島市舟橋町宮北1-15,1,16-1	
用途	診療所	
主要構造	2階 鉄骨造	いちゅう
	1階 鉄骨造 + 木造(囲柱ラーメン木構造)	
地域区分	準防火地域	
耐火等の要件	防火構造 (延焼のおそれのある部分の外壁・軒裏・外壁開口部)	
延床面積	499.63㎡	
階数	地上2階(木造部分は平屋)	
木材使用量	32.0㎡	
活用した補助金	森林・林業対策事業 県産材需要拡大 施設等整備事業(新技術活用施設支援タイプ)	
主な使用樹種	ヒノキ・スギ	

## 羽島整形外科・皮膚科

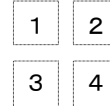
人に優しく、ぬくもり、癒し、精神安定、リフレッシュ効果

リハビリ治療に、空間でも効果を

## 施設概要

＜空間でのリハビリ効果＞整形外科のリハビリ室は一般の診療と違い、時間を掛けての施術が多く、また長期間通われる患者さんもいます。その中で、木は、人に優しく、ぬくもり、癒し、精神安定、リフレッシュ効果があり、リハビリ治療に、空間でも効果を出したい考えから囲柱が採用されました。＜サステナブル建築＞当初は鉄骨造で、内装のみ「木」と計画されていましたが、ラーメンによる大空間を構成できる囲柱ラーメン木構造ならリハビリ室にマッチ、かつ、サステナブルな建築に仕上がりました。大断面集成材ではなく、一般流通材サイズの木材を組み合わせた新技術『囲柱ラーメン木構造』。地域の木材(ヒノキ・スギ)を無理せず自然体で有効的に利用できるよう、汎用木材でも鉄骨造のような建築物が可能という高付加価値を生みだしました。水平構面の剛性確保には、地域材(ヒノキ)から成る構造用合板(厚24mm)を採用しました。

建設面・廃棄面でも環境に配慮、CO2の貯蔵と共にSDGsを示せます。建築コストを抑えた木造ラーメンには、今後の拡がりを期待します。



1 リハビリテーション室には木造が採用されました。鉄骨に囲まれた空間は視覚的にも体感的にも冷やかに感じることに對して、木造空間は温かく穏やかに「居る」ことに心地よさを感じます。ひとつのまとまった空間に大きな開口がとれ、光を充分に取り入れながら心身をメンテナンスします。／2 囲柱ラーメン木構造を構成する柱は、岐阜県産のヒノキ製材口120角4本から成り、柱頭仕口ブラケット部分を含めて工場生産し品質を守ります。鉄骨造の柱姿のような形で現場へ運ばれ、クレーンにて建て込みます。梁は、岐阜県産ヒノキ集成材120幅×H450から成り、在来仕口加工ではなく「全断面掛け」の加工とすることで施工スピードは一段と速く、L型に曲げられたスプラインプレートで継手角を覆い、せん断ビスで固定するだけの容易さです。プレカット後すやかに工場で施された液体ガラスによって、雨天での建て方を可能とし、雨養生を不要としています。／3 構造体を支えるアンカーボルトの施工では、鉄骨造と同じく高い精度を要求します。基礎鉄筋が入る前にアンカープレートでセットし、コンクリート打設前に位置確認、打設後にも位置確認と繰り返し、ベースプレートより上側は、当然のまま仕上げとなり室内に露わとなります。金物に「構造」としての役割と同時に「意匠」も兼ね備えることで、金物を隠す作業がディレイトできます。構造美です。／4 上方を見上げると、2種類の梁継手金物があります。一つは、ラーメン構造体を成すための継手金物(金色)であり、もう一つは逆に、ラーメン構造体を成さないための継手金物(銀色)となります。

